



ISO 認証登録マークの変更のお知らせ

弊社の今まで ISO 14001 の認証登録していた株式会社 KPMG 審査登録機構が、4月1日をもって日本検査キューエイ株式会社と事業統合を行いました。それにより弊社の KPMG 株式会社のロゴマークは、順次日本検査キューエイ株式会社のロゴに変更になります。審査機関の事業統合による弊社の ISO への取り組みはこれまでと何ら変わりはありません。引き続きよろしく御願い致します。

最近の非鉄相場

ここ1年非鉄相場が異常なほど高騰しています。この主な理由は、世界的同時景気による原料不足に加え原油の高騰に起因する製錬メーカーの採算悪化による操業停止。採掘現場の労使紛争など生産抑制要因と、この世界同時景気に目をつけた投資家の資金がメタル市場に流入し、現物価格を必要以上に押し上げている為です。

非鉄相場はここ一年で約倍の価格となっています。スクラップ市場で見ても同じ状況となっており、先高と読んだ筋においては出ししづり現象となり、それがひいては LME の在庫減少に拍車をかけ、さらなる投資資金を呼び寄せるといった悪循環にも近い状況となっています。

こうなると怖いのが下げに転じた時です。と言うのは投資家の資金は下げに動き出すと少しでも損を減らそうと投売り状態になっていきます。「山高ければ谷深し」と言う諺にもあるように現物価格は急落しそれにより思惑で在庫を抱えている筋の中には廃業に（問屋サイド）追い込まれるかもしれません。それ程今回の高騰劇は波乱にみちています。何事も地道にコツコツと行う事が何か重要な意味を持ち始めたような気がします。

この事は、大きな利益も生みませんが、大きな損も

せず健全に企業を伸ばしていく基本ではないのでしょうか？（大先輩方を前に大変失礼しました。）

5月25日現在、銅の建値は急落の後、又値を戻すと言う投機筋主導の荒っぽい展開となっています。本格的な下げ相場の場合には、谷は深い模様です。

鉄の相場

毎回私がこの鉄の相場の先行きを予想しているのですが、毎回勉強不足で予想が外れることが多くて申し訳ございません。

昔は国内メーカーの動向で予測できたのですが、今の鉄スクラップ相場はグローバルになっており、アメリカの動きやアジアマーケット（中国・韓国・台湾）の購買動向、日本の鉄屑のプライスリーダーである東京製鐵の動きなど複雑に絡みあった中での予測になっています。又、今現在の状況だと過去の相場変動のリズムに合わせると大体このような動きになるのでは？と予測しても実際先になると環境等の変化により又別の動き方をしている。正に生き物と一緒にいます。

それでも少しでも皆様のお役に立てればとない頭を絞って今現在から見る少しだけ先を予測したいと思います。

ここ最近の動きとして、まず韓国は、デーブシー（米屑）の購入を控え、直近の日本屑・ロシア屑の購入に切り替える方法を取りだしました。と言うのは、デーブシーを購入した場合、船の入着が1ヶ月～2ヶ月先になってしまい製品価格、スクラップ価格の状況も動いている場合があります。そのような事から、直近の日本・ロシアからの購入なら短期でデリバリーができ製品市況に迅速に対応できるからです。

台湾、中国は鉄屑の購入は通常ペースで目立った動きはこれとあってありません。

ただ中国は今年4月までに1億トンの粗鋼生産量を超え年間ベースでいくと3億5千トン強の生産となりまだまだ伸び続けています。

ちなみにこの生産量は、世界の生産量の実に32%も占めることになるのです。

今、世界は同時景気に沸き、去年の製品供給過剰問題からのスクラップの下げの兆候は、今年は今のところ出ていません。

来月は電力のピークカットの時期に入っていく、7月頃には本格的な減産になる為、スクラップの購入量が減る事から下げ相場に移行する物と思われます。

ただし製品需要は堅調に推移すると予想され、電炉メーカー各社も極端な下げは製品価格に影響がでることから避けるものと思われ、昨年と同時期よりは価格は高いレンジで推移していく事が予想されます。

今年は余程のこと？が無い限り多少の上げ下げはあっても堅調に推移すると思われます。